

農林中央金庫を支える基盤

価値を生み出す当金庫のビジネス領域を支える基盤として、コーポレートの主要な取り組みを紹介します。

コーポレート

リスク管理	52
コンプライアンス	55
IT・DX	57
サイバーセキュリティ	59
人的資本経営	60

Q 各ビジネスを支える基盤として、コーポレートの領域ではどのような取り組みを行っていますか。

A 当金庫の使命を果たしていくためには、外部環境の変化に柔軟に対応し、役職員一人ひとりが創意工夫・挑戦する意識をもってビジネスを展開していく必要があります。当金庫の基盤に位置付けるコーポレートの領域は、まさしくそのための土台であり、不断にその強化・高度化に取り組んでいます。本章では、コーポレートのなかでも特に重視するテーマとして、リスク管理、コンプライアンス、IT・DX、サイバーセキュリティ、そして人的資本経営をご紹介します。

Q なぜ、これら基盤の強化・高度化を重視しているのですか。

A 足元の経営注力テーマである「稼ぐ力の再構築」や「農林水産業の持続的発展への貢献」を着実に実践するためには、財務・非財務一体的なリスク管理の強化に加え、生成AIなどのITデジタル技術も最大限活用し、業務の効率化と高度化を進めていくことが不可欠です。

また、これらの取り組みの原動力は「人」です。注力テーマを着実に実践し、中期ビジョンの実現に繋げていくためには、一人ひとりがコンプライアンスを自分事化して実践することによる健全なリスクカルチャーの醸成、必要な人材を確保し育成する人的資本経営が重要です。こうした取り組みの積み重ねが、ステークホルダーからの信頼回復に繋がると考えています。